

【 第二校舎の運営など 】

No	質問	回答
1	第二校舎を低学年専用とすることで異学年交流などに制限がかかり、子どもたちの学びの環境が失われてしまうのではないかと懸念がある。第二校舎での学校運営はどのように考えているのか。	第二校舎として運営することで、他の学校と違う特色を出せるのではないかと期待しています。校舎間での移動は多少発生すると思われませんが、児童が不安にならない運営方法を考え、児童にとってより良い教育環境を整備していきます。また、現在でもオンライン環境を活用した全校集会を実施しており、第二校舎開設後もこのような工夫をすることで異学年交流などもスムーズに実施できると考えています。
2	晴海四丁目に整備する学校を新校としなかった理由を教えてください。	検討開始当初は新校の開校を検討していましたが、通学区域の変更による影響の大きさや将来の施設転用を考慮し、晴海西小学校の第二校舎として計画を進めることとしました。
3	低学年児童が大きな幹線道路を横断することになることから、第二校舎までの通学路の安全確保に懸念がある。	学校周辺の交通事情を把握した上で、安全が十分確保できる通学路を設定していきます。
4	第二校舎に関する説明会は今後開催するのか。	現時点では考えていませんが、開催について検討します。
5	第二校舎を高学年専用にしなかった理由は何か。	高学年児童と中学生が既存校舎で生活することで、小学校から中学校へのスムーズな接続が可能になると考えています。また、既存校舎は中学生の部活動などもあり、運動場が使用できず放課後の児童の遊び場に制限が出てしまうケースがあります。第二校舎を低学年専用とすることで確実に放課後の居場所が確保できることから、第二校舎を低学年専用とする意義は大きいと考えています。
6	令和11年4月の開設を前倒すことはできないのか。	当初は令和12年4月の開設を予定していたところ、工期の調整により開設時期を1年前倒しました。令和8年度中の工事契約の締結を予定しており、現在は実施設計の段階で、国に対する申請の準備をしている状況です。工期に2～3年かかることを踏まえると、これ以上前倒すことは難しいです。
7	第二校舎は中学生が使うことも想定して設計しているのか。	低学年専用校舎として設計していることから、家庭科室や理科室がありません。したがって、中学生の通学を念頭において設計していません。

No	質問	回答
8	第二校舎の使い方の将来的な展望を教えてください。	将来的にも低学年が使用する予定であり、児童生徒を既存校舎で受け入れられない状況が続く限りは第二校舎を使用していきます。
9	通学距離や通学時間を踏まえると、第二校舎に低学年が通学するのは合理的ではないように思えるが、どのように考えているのか。	区内には1km以上の通学路が設定されている小学校もあります。第二校舎への通学に際しては晴海心頭公園近くの住居が最も距離がありますが、およそ900m程度であり、他校と比較して著しく遠く、時間がかかるわけではありません。以上のことから、無理のない計画であると考えています。
10	第二校舎の建設工事が遅れ、令和11年4月の開設が遅れることはないのか。	予期せぬ事態が起こらないとは言い切れませんが、リスク管理をしっかりと行い、関係各所と綿密に連携しながら着実に工事を進めてまいります。
11	第二校舎はどのような設備になるのか。運動場や体育館などは全て揃っていて、既存校舎の設備と同じという認識でよいか。	低学年が使用しない理科室と家庭科室はありませんが、体育館や図書室、給食室など児童の学校生活に必要な諸室は全て整備することから、第二校舎のみで学校生活は完結します。
12	第二校舎における教員の配置はどうなるのか。	低学年を担当する教員が第二校舎に常駐します。養護教諭も第二校舎に配置することから、既存校舎での学校生活は第二校舎でも同様に行えると考えていただいて差し支えありません。
13	第二校舎の通学について、学校までの距離が遠いことから、誘導員の配置は検討しているのか。	登下校時には、誘導員を配置する予定です。